

大鹿村中央構造線博物館たより 148号



2021年9月発行

TEL: (0265) 39-2205
staff69@mtl-muse.com

大西山が小規模な崩壊！

今年の梅雨は、大雨もなく安堵したのもつかの間、お盆の時期に、西日本を中心に記録的な大雨に襲われました。伊那谷周辺でも、天竜川の増水、諏訪湖の氾濫、岡谷の土石流発生など、大きな被害が出ました。大鹿村では、昨年の豪雨のときと比べると、1時間に30mmを越えるような強雨はありませんでしたが、8月13日から15日昼にかけて雨天が続き、この3日間(72時間)で300mm近い降雨があり、村内数か所で土砂流出などが発生しました。気象庁大鹿観測点における72時間降水量の(1983年以降)観測史上歴代1位の値が、2006年7月17～19日の320mmということなので、3日間に降る量としては、かなり多かったといえそうです。そして、雨がやんだ後の8月16日の午前中には、大西山の崩壊地の上部、赤茶色に風化した花崗岩の表層部分が少し崩落し、一時は周辺が騒然としました。大西山崩壊地の写真を2020年撮影の写真(写真1)と比べると、変化はあまり見られないのですが、おおよそ写真2の白色で示したあたりが崩落したようです。(宮崎)



写真1 大西山崩壊地 (2020年3月2日)



写真2 大西山崩壊地 (2021年8月22日)



※文中の雨量は気象庁大鹿観測点のデータを参照しました。

※小崩落時の動画(松山ゆりなさん撮影)をおぼたちゃん@obota_chanさんがTwitter上にアップしてくださっています。既に2万回以上表示されており、左のQRコードからアクセスできます。

博物館再び臨時休館

長野県全域の新型コロナ感染拡大を受けて、博物館では、8月20日(金)～9月2日(木)の間、臨時休館となりました。休館を知らずに玄関前まで来られる方もおられ、大変申し訳なく思いました。それでも、8月初旬に浜松の徳田さんが岩石園の岩石洗浄ボランティアに来てくださったので、屋外の岩石標本はどれも綺麗な状態であり、説明看板も今年新しくしたばかりということで、岩石園だけでもじっくり見て帰っていただけたことが、不幸中の幸いでした。この博物館たよりが発行されている頃には、再開できていると良いのですが。(宮崎)